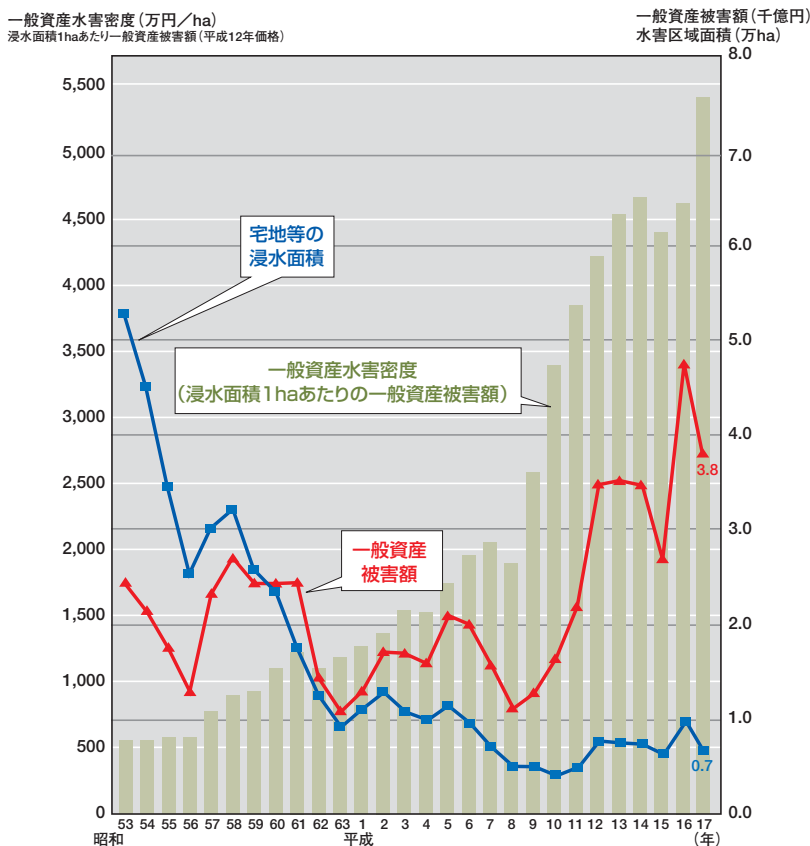


【3】 社会条件の変化により、浸水被害が深刻

水害に弱い資産が増加

治水対策により浸水面積は減少したが、浸水面積あたりの被害額は激増

【水害被害額及び一般資産水害密度等の推移】



注1) 値は過去5箇年の平均値である
 注2) 一般資産被害額及び水害密度には、営業停止損失を含む
 注3) 価格は平成12年価格である
 国土交通省河川局「水害統計」より

水に浸かった家庭用品



平成12年9月 東海豪雨

大規模な水害に見舞われると、復旧・復興に多大な時間が必要

(例) 平成16年台風23号で円山川が破堤した時のゴミ処理(豊岡市)
 ・1年半分のゴミが一度の水害で発生
 ・ゴミ処理に半年以上の期間



平成16年7月 新潟・福島豪雨(新潟県中之島町)



平成16年7月 新潟・福島豪雨(新潟県見附市)



平成16年10月 台風23号(兵庫県豊岡市)

I 河川の現状と課題

社会条件の変化により、浸水被害が深刻化

都市部で頻発する地下施設への浸水

都市構造の変化により、地下街等の新たな被害形態が発生



平成16年10月 東京地下鉄麻布十番駅

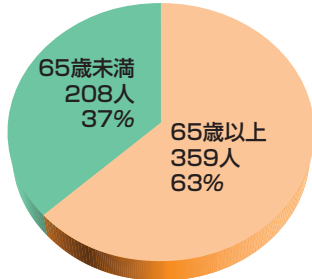


平成15年7月 福岡市営地下鉄

被災者に占める高齢者等の災害時要援護者の割合が増加

高齢者や保育園の園児等の災害時要援護者の被災が顕著

【被災者に占める高齢者の割合】



出典：消防庁HPに掲載されている平成16年(2004)以降の災害を集計(H18.9.21時点)

へり救助 震える園児



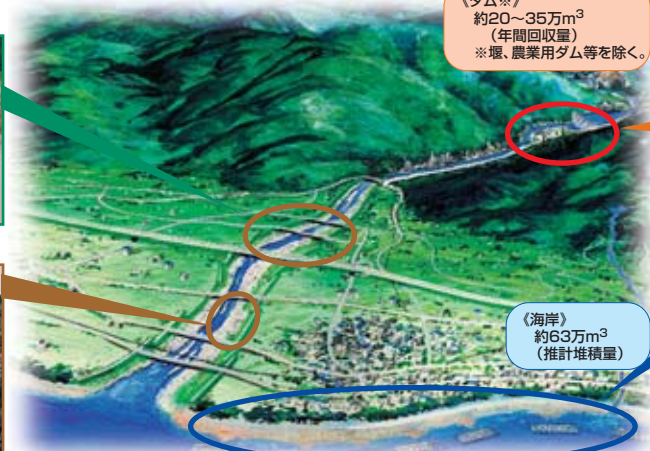
(平成16年7月14日 朝日新聞)

洪水時には大量の流木やゴミが流出

橋に引っかかった流木



ゴミの不法投棄



〈ダム※〉
約20~35万m³
(年間回収量)
※堰、農業用ダム等を除く。

ダムに捕捉された大量の流木



海岸に漂着したゴミ及び流木の堆積状況



〈海岸〉
約63万m³
(推計堆積量)

(注)国土交通省河川局調べ